

AEGIS-Women よりご報告

このたび、AEGIS-Women 野村 幸世会長が日本消化器外科学会理事に就任いたしました。会員の皆様には、AEGIS-Women の活動への参加・ご指導をいただき、消化器外科領域での女性のプレゼンスも拡大しつつあります。野村会長に引き続き、様々な分野で女性消化器外科医が活躍することを期待します。



「日本消化器外科学会理事就任のご報告」

消化器外科女性医師の活躍を応援する会 会長
東京大学大学院 消化管外科
野村 幸世 先生

2022年7月21日、日本消化器外科学会の理事に就任させていただきました。ひとえに皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。また、同時に、十分に役割が果たせるのか、いささか緊張しているところです。

今回、理事に就任させていただきましたのは「女性枠」です。以前より、日本消化器外科学会における男女共同参画を推進することに力を入れてくださっている北川雄光理事長のご英断によるものです。

昨今、皆様の努力により、日本でも女性の社会進出の重要性が認識され、アフターマテイクアクションのひとつとして様々な役職に「女性枠」が設けられることが増えてきました。私は、この女性枠によって役職に選出されることが時々ございます。このような時、正直なところ、複雑な気持ちも拭えません。本来、「女性枠」ではなく、性別に関係なく評価されて役職に就任できるだけの実力をつける努力が必要ではないかという思いもあるからです。

しかし、AEGIS-Women の皆様のことを思い浮かべますと、まだまだ解決すべきことは山積しており、「女性枠」であろうとなかろうと、理事としての責務を果たしていかなければならないと認識しております。特に、女性消化器外科医の皆様が、できるだけその能力を発揮し、職場でも家庭でも働きやすい環境を整備していけるよう努めさせていただきます。同時に、男性消化器外科医の皆様もワークライフバランスを大切に、家庭運営に参加できるようにしていけるよう尽力させていただきます。

今後、会員の皆様の中にも「女性枠」や「若手枠」などで何かの役職にオファーをもらう人がおられるかもしれません。躊躇することがあるかもしれませんが、できましたら思い切ってチャレンジして下さい。皆様のお力で、何かを変えていけるのではないかと思います。

今後とも、AEGIS-Women とともに、よろしくお願いいたします。

編集：大越香江